

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



一手一手を考えながら駒を指す児童

夏よりも熱い真剣勝負

■第5回 牧之原市将棋交流大会

「第5回 牧之原市将棋交流大会」が8月16日、い〜らで開催されました。

「杏林堂杯 子ども将棋大会」では、低学年、高学年、初心者の3つの部に分かれ、市内外から参加した児童31人でリーグ戦が実施されました。

また、梶浦宏孝七段、加藤桃子女流四段（細江区出身）による指導対局では、参加者はプロ棋士や女流棋士による指導を熱心に受けていました。指導を受けた児童は、「プロの棋士から学んだことを生かして、今後も頑張りたい」と話しました。

天気の不思議を学んでもっと身近に

■竜巻被災地イベント「夏休みお天気教室」

NPO法人 気象キャスターネットワークは8月9日、竜巻被災地イベント「夏休みお天気教室」をさざんかで開催しました。

同団体は、去年の台風15号による被害が大きかった本市と吉田町の応援と共に、子どもたちに夏休みの思い出を作ってもらいたいとイベントを企画。小学生と保護者約60人が参加し、天気に関する実験や工作などを体験。また、渡部圭吾気象予報士によるクイズや豆知識の話があり、参加者は天気の不思議などについて楽しく学びました。



ペットボトルの中に雲を作る実験をする参加者



竹刀で新聞紙を切る体験をするケルソー高校生(榛原高校剣道部)

日本とアメリカそれぞれの文化を学ぶ

■市国際交流協会「学生交換ホームステイ事業」

市国際交流協会は、本市の姉妹都市である米国ワシントン州ケルソー市との交換ホームステイ交流を行いました。

7月26日に高校生2人がケルソー市に出発し、ケルソー市高校生と共に8月2日に帰国。相良高等学校の姉妹校であるケルソー高校生2人が8月9日まで本市を訪れ、市内の家庭などにホームステイをしました。滞在中、市長表敬訪問や静波海岸でのサーフィン体験、榛原高校生との交流などを行いました。

平和な世界を願って

■第16回牧之原市平和展

第16回牧之原市平和展が7月25日から8月14日まで、い〜らで開催されました。

世界の恒久平和と市民が安全かつ文化的な生活を営める社会の実現を願って毎年開催。期間中、広島・長崎における原爆の惨状を映したパネルを展示しました。

8月8日はイベントを開催し、市民が所属する団体による活動報告や演奏会、朗読を実施。また、第27、28代高校生平和大使による講演では、手話や歌を用いて、平和への決意が述べられました。



高校生平和大使2人による手話をういた歌唱（8月8日）

中学生などが全国の舞台で大活躍

■全国大会出場選手が市長を表敬訪問

各競技で全国大会への出場を決めた市内在住の学生が8月に市役所を訪れ、全国大会への出場決定や結果を報告しました。

本市3中学校と吉田中学校の4校合同で構成される「牧之原市・吉田中学校」チームは「第48回全国中学校軟式野球大会」で第3位、永脇聖奈さん（榛原中3年）は「第66回全国中学校水泳競技大会」で200m・400m個人メドレーとともに第6位、松本衛さん（榛原中3年）は「第56回全国中学校相撲選手権大会」で個人決勝1回戦進出でした。



「決勝でタイムが伸びなかったことは悔しいが、楽しく笑顔で終われて良かった」と話した永脇さん(左から3番目)



「牧之原市・吉田中学校」チームは、市誕生以来初めて全国大会へ出場（写真は父兄や市民などの出迎え時）



東海大会後の表敬訪問で、「相手よりも立ち合いを早くできるよう練習を重ね、全国優勝を目指したい」と話した松本さん④

牧之原市を「食」で盛り上げる

■「まきのはらグルメ」お披露目会・試食会

市は8月6日、「まきのはらグルメ」お披露目会・試食会をミルキーウェイクスクエアで開催しました。

地産地消の促進と飲食業界の活性化支援などを目的としており、市内店舗などから地元の食材を生かした自慢の料理を募集しました。

「ランチ部門」14品と「スイーツ部門」18品の出品があり、総投票数は1,849票。会場では各部門の上位5つの発表のほか、実際のメニューの試食会も行われました。来場者は料理について意見交換し、親子や友人でグルメを楽しんでいました。



さまざまな「まきのはらグルメ」を試食して楽しむ来場者



相良あおぞら保育園の園児に英語のレッスンをする児童

英語で仕事を 英語の楽しさ学ぶ

■English Camp(イングリッシュキャンプ)2026

市内の小学5、6年生20人は7月30、31日の2日間、市役所相良庁舎で開催された「イングリッシュキャンプ」に参加しました。

児童は「『英語で学ぶ』から『英語で仕事をする』」をテーマに、ALT(外国語指導助手)の支援を受けながら活動。市のPR活動動画を制作する「グローバル・マーケティングチーム」と、保育園児を対象とした英語レッスンを実演する「キッズティーチャーチーム」に分かれて、英語を使う楽しさや伝わる喜びを体験しました。